

与謝の海病院NEWS

平成20年10月

Vol.116

京都府立与謝の海病院

〒629-2261

京都府与謝郡与謝野町字男山481

電話/FAX 0772-46-3371 (代表)

http://www.pref.kyoto.jp/yosanoumihp/

●発行責任者：柴田事務部長

～ 患者が中心の、地域に開かれた病院 ～



ふれあい
看護体験



7月24日(木)、近隣の高校生18名を招いて「ふれあい看護体験」を実施しました。高校生の皆さんが実際の医療現場に入り患者様や看護師と接するなかで、看護技術のほか、コミュニケーションの大切さなどを感じてもらう良い機会となりました。(看護部)

現代GP (与謝の海病院にて)

今年も9月1日(月)～5日(金)に京都府立医科大学の医学科12名・看護学科10名の学生がチーム医療や地域医療の現場を体験しました。カリキュラムの中では石川小学校6年生の皆さんとの交流もあり幅広い体験ができました。(庶務課)



在宅訪問看護



地域診療所



小学校訪問



院内実習

病院モニター

7月30日(水)、第3回病院モニターを実施しました。病院のことについて改めて知っていただくことも多いですが、病院では第1回からのモニターさんの御意見をもとにサービス向上のため、色々な工夫を行っています。(詳しい内容は病院ホームページに掲載中です) (庶務課)



経口補水液自動販売機

中庭の朝顔栽培 (QCサークル活動)

「現代GP」とは、“現代の教育の必要性にあった良い実践例”の意味で、京都府立医科大学が文部科学省の進める現代的教育ニーズ取組支援プログラムの一環として京都府北部の受入病院の参画により実施されました。

主な内容

- | | | |
|-------|----------------|----------------|
| 1 ページ | ● ふれあい看護体験 | ● 現代GP |
| | ● 病院モニター | |
| 2 ページ | ● 診療科紹介 —整形外科— | ● ご意見箱から |
| | ● 一口レシピ | |
| 3 ページ | ● 診察室 —外科— | ● ナースのお仕事 A3病棟 |
| 4 ページ | ● 外来各科診察担当医表 | ● 人事異動 |
| | ● 血管造影装置 | ● 一日救急隊長 |



診療科紹介 — 整形外科 —

整形外科とは運動器を中心とする疾患を扱う診療科のことです。運動器とは、骨、軟骨、神経、靭帯、腱、筋肉などで構成される器官、つまり身体を動かすのに不可欠なものの総称です。京都府立与謝の海病院の整形外科は昭和60年4月に開設されました。開設から約23年経ったこととなります。その間、世界的にも整形外科学は随分と進歩しました。

昔も今も交通外傷、転倒や転落などの怪我に不幸にも遭遇してしまう可能性があり、一般整形外科学的な知識を基盤として可能な限りup to dateな診療を行うよう努めています。当院では現在、整形外科学会専門医の資格を有する3名を含む常勤医師4名によって日々の診療を行っています。平成19年度の手術件数は368例で、内訳は外傷手術が195例、

人工関節置換術が12例、脊椎手術が41例、その他の手術が124例でした。

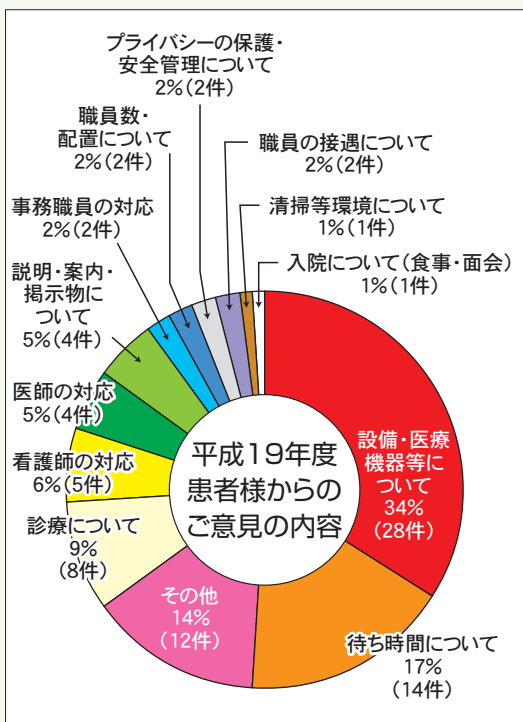
最近、整形外科学は細分化される傾向にあり、専門性が徐々に高まって来ました。医長は関節外科、特に膝関節外科が専門で、変形性関節症に対する人工関節置換術を得意にしています。人工関節の機種は日々開発が進み、現在では20年以上の耐用年数を認めるものもあります。副医長は日本整形外科学会認定の脊椎・脊髄医であり、脊椎外科学会でも最先端の治療法である内視鏡や顕微鏡を用いた小侵襲脊椎手術を積極的に導入しています。

常勤医全員で慢性疾患、不慮の事故、怪我などの外傷疾患に至るまで、可能な限り日常生活に支障を残さず、早期の社会復帰が出来ることを目指して治療に取り組んでいきたいと考えています。

整形外科医長 高宮 尚武 (9月30日付退職)

ご意見箱から

平成19年4月から平成20年3月までに院内の御意見やお手紙で寄せられました御意見の一部を紹介いたします。皆様からの御意見をもとに、より良い病院づくりに活かしたいと思っております。今後も御意見をお待ちしています。



設備、医療機器等について (28件)

【ご意見】前に利用した時と比べ、朝の始業のあいさつや、予約をとっておけるシステムなど随分助かります。トイレやその他いろいろな場所で、皆さんが患者の立場になって考えてくださっていることを実感し、感謝しています。ありがとうございます。

【お答え】ありがとうございます。患者さまからのご意見を励みに、これからも職員が丸となって、病院の理念に沿った、患者が中心の、心のこもった医療を行うよう頑張りたいと思います。

待ち時間について (14件)

【ご意見】午前9時着のバスで来た身体が不自由な老人です。今日は予約満員で、予約者の受診が終わるのは零時半の見込みだそうです。私のような遠隔地の者は帰るに帰れず、せめて電話受付が出来るならば、このような不都合は避けられるのではと、勝手な意見とは知りながら苦言申し上げます。

【お答え】かかりつけ医からの事前予約システムをご利用いただければ、待ち時間なく、診察を受けていただけるようにしています。

診療について (8件)

【ご意見】医師不足と言われるなか、医師を確保するために、ご苦労されておられることと思います。ただ専門医がいないというのは、家族も特に本人にとっては不安ではないでしょうか。どうぞ血液専門医の配属を心から願っています。やはりどうにもならないのでしょうか…医療格差を感じずにはられません。

【お答え】ご迷惑をおかけしています。血液専門医の配属を関係機関にお願いしていますが、未だ実現していない状況です。

(京都府立与謝の海病院・サービス向上委員会)



秋刀魚の竜田揚げ



【材料 (4人分)】

- 秋刀魚 2匹
- 土生姜 少々
- 濃口醤油 120ml
- みりん 40ml
- 片栗粉 少々
- 酢橘(すだち) 少々

- ①さんまを3枚に卸し、腹骨をすきます。
- ②濃口醤油とみりんとすり生姜の絞り汁を合わせ、さんまを10分間漬けて引き上げます。
- ③ペーパータオルで拭き、片栗粉を薄く付けて160℃の中低温で揚げないように色よく揚げます(酢橘を飾ります。)(栄養管理課)

診察室

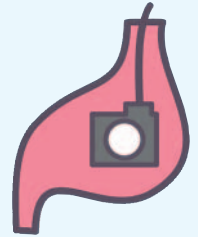
『がんを早く見つけるために』 一外科医長 伊藤 剛一



外科で取り扱うがんの中には、食道がん・胃がん・大腸がん・肝臓がん・すい臓がん・胆道がんなどがあります。これらの治療は、

その進行度（どのくらい病気がひろがっているか）によって大きく異なってきます。最近は特に「身体にやさしい治療を」ということで、腹腔鏡（ふくろうきょう）という方法で、きずの小さな手術を行っています。手術の翌日から歩行をして、数日後には食事をとることもできるようになります。患者さんにとってはとても有意義な治療方法です。しかし、この方法は「進行がん」には施行することができません。すなわち、楽に治療をすすめるためには、早期発見・早期治療がもっとも大切なわけです。現在40歳以上の方には、胃・大腸・肺がんの検診が行

われています。これらの検診で早期に発見されたがんには、上記のような治療を含めて、いろいろな選択肢がひろがることとなります。消化器がんでは主に、「食欲不振」や「食事がのどを通りにくい」などの症状や、便秘や下痢を繰り返したりする「排便の異常」などが発見のきっかけとなります。これらの症状は日常よくある症状であり、つい見過ごしてしまいがちですが、いつものことと安易に考えず、なるべく早めの受診をお勧めいたします。また、30歳を過ぎると女性の方は乳がん検診を受けることができます。結果がこわくて受診が遅くなり、いろいろな治療方法の機会を失うことがないように、ぜひとも年一回の健康診断を心がけ、心身ともに健やかに過ごしたいものです。



ナースのお仕事・A3病棟

A3病棟は平成6年に増築された南棟の3階に位置し、日本三景の一つ天橋立を横一文字に眺望できる特別室を有しています。病床数は49床で主な診療科は整形外科、泌尿器科、皮膚科の3科ですが現在はあらゆる科の入院を受け入れて



います。

整形外科の患者様は、病床数の2/3を占め、骨折を始め関節・脊髄・腱など専門医が最新の

治療を行い、1日も早く患者様が家庭および職場復帰できますよう日々努力しています。特に大腿骨骨折などは高齢の患者様が多く、術後3週間で退院できるようリハビリや日常生活動作の拡大に理学療法士、看護師は力を注いでいます。また地域連携室と協力して退院後の生活のあり方などについても患者様の意向を尊重し支援を行なっています。

泌尿器科の患者様は、尿路感染を始め、腎・前立腺・膀胱疾患など検査から治療を短期間で実施しています。



尿路変更後の患者様には熟練したスタッフが自己管理できるよう計画的にケアを行っています。

皮膚科には火傷や皮膚腫瘍など皮膚のトラブルに様々な治療がなされていますが、退院時には自分で手当てできるよう医師と一緒に頑張っています。

当病棟の患者様は、普通に生活されていた方が多く、また高齢で認知症のある方もおられます。その方々が治療に専念されますようスタッフも元気で明るく対応するよう心がけています。週に1回は各部門が参加し合同カンファレンスを行っています。患者様が1日も早く安心して社会復帰されるにはどうすればよいか常に話し合いながら試行錯誤しつつ退院支援を行っています。



外来各科診察担当医表

(平成20年10月1日)

診察室	診療科	月	火	水	木	金	
11	総合内科	時田 和彦 副院長	吉川 修 医長	大月 亮三 医長	時田 和彦 副院長	半田 修 医長	
12	呼吸器科	小暮 彰典 医長 (糖尿病)	大月 亮三 医長		小暮 彰典 医長 (糖尿病)	大月 亮三 医長	
	消化器科			西川太一朗 副医長 (肝臓)			
13		高田 久 副医長	奥田 隆史 副医長	濱口 恭子 医師	半田 修 医長	大野 智之 医長	
14	循環器科	本庄 尚謙 副医長	五十殿弘二 副医長	吉川 修 医長 (腎・高血圧)	木村 晋三 医長	田川 雅梓 副医長	
26	精神科神経科	常見 哲平 医師	上村 宏 医長	上村 宏 医長	上村 宏 医長	常見 哲平 医師	
23	小児科	小川 弘 医長	菊地 顕 副医長	小川 弘 医長	菊地 顕 副医長	小川 弘 医長	
18	外科	1診	内藤 和世 院長	當麻 敦史 副医長	伊藤 剛 医長	中村 憲司 医長	藤 信明 診療部長
		2診	川口 耕 医師		上田 英史 医師		佐々木裕二 医師
	乳腺クリニック(午後)	中村 憲司 医長					
22	整形外科	井上 裕章 医師	戸谷 祐樹 医師	大久保直規 副医長	白須 幹啓 医長	(1,3週)戸谷祐樹 医師 (2,4週)井上裕章 医師 (5週)大久保直規 副医長	
17	脳神経外科	松岡 秀典 医師			松岡 秀典 医師		
19	眼科	1診	永田 健児 医師	永田 健児 医師	小森 秀樹 医長	小森 秀樹 医長	畑中 宏樹 医師
		2診	畑中 宏樹 医師		畑中 宏樹 医師	永田 健児 医師	
20	産婦人科	安尾 忠浩 副医長	野口 敏史 副院長	山口 剛史 医長	(奇数週)山口剛史 医長 (偶数週)安尾忠浩 副医長	野口 敏史 副院長	
24	泌尿器科	清水 輝記 医師	松原 弘樹 医長	松原 弘樹 医長	清水 輝記 医師	松原 弘樹 医長	
25	耳鼻咽喉科	1診	長谷川達央 副医長	松波 達也 医長	松波 達也 医長	松波 達也 医長	松波 達也 医長
		2診		長谷川達央 副医長	長谷川達央 副医長	長谷川達央 副医長	
21	ペインクリニック		(奇数週)松山広樹 医長 (偶数週)梅内貴子 副医長				
16	皮膚科	花田 圭司 医長	花田 圭司 医長	花田 圭司 医長		花田 圭司 医長	

●受付時間/8:00~11:00(ただし、乳腺クリニックは14:30まで)

●閉診日/土・日・祝日(急患は、時間外でも診察)

異動情報	診療科名	退職者 (平成20年9月30日)		採用者 (平成20年10月1日)	
	産婦人科	副院長	岩 破 一 博	副院長	野 口 敏 史
	整形外科	医 長	高 宮 尚 武	医 長	白 須 幹 啓
	産婦人科	医 師	山 元 博 貴		



右から2番目が山西医師

9月9日(火)宮津与謝消防署本所にて、当院で研修中の山西医師が救急の日の啓発活動の一環で「一日消防隊長」に任命されました。消防職員から救急業務の説明を受け、事業所での訓練の視察や意見交換などを行いました。(庶務課)



司令室にて

血管造影装置が新しくなりました!

血管造影装置とは、手首や足の血管にカテーテルという管を刺し、目的のところまでカテーテルをとおし、造影剤というレントゲンで見えるお薬を目的血管へ注入し、その状態が放射線で映し出され観察できる装置です。

くも膜下出血、急性心筋梗塞など緊急時の検査に対応しています。

また、今回の装置はデジタル化が進んだものとなり、通常検査では放射線による被ばくが少なくなります。(放射線科)



いっしょに働きませんか? ~薬剤師・看護師募集~

当院では、現在、薬剤師の嘱託職員、看護師・准看護師・助産師の臨時職員を募集しております。条件等については、お気軽にお問い合わせください。

勤務時間は相談に応じます。
年齢制限はございません。
給料は経験によります。

【お問い合わせ先】京都府立与謝の海病院 庶務課 0772-46-3371 (代表)

【発行】京都府立与謝の海病院 【編集】与謝の海病院広報委員会 【問合せ先】庶務課
TEL/FAX 0772-46-3371(代表) ホームページ <http://www.pref.kyoto.jp/yosanoumhp/>